

Actian Audit for Zen v15

御社のデータに対して誰が何を、いつ、どこから、どのように操作しようとしているかを把握する

主な利点

不正が行われるリスクを削減できる

診断とサポートを改善できる

説明責任が追跡可能であることを簡単に示すことができる

アプリケーションやデータベースの変更が不要になる

実装がすばやくでき、メンテナンスの必要が少なくなる

サポートされる OS プラットフォーム

Actian Zen v15 Windows Server 製品のシステム要件に準じます。

サポートされるデータベース

Actian Zen v15 Enterprise Server

Actian Zen v15 Cloud Server

アプリケーションのセキュリティが保証される

セキュリティが侵害されると、そのコストが非常に高くつく場合があります。不正、重要な業務ファイルへの不正アクセス、なりすまし、およびシンプルなユーザー エラーはすべて、ビジネスに影響するセキュリティ障害の例です。これらによって被ったダメージを修復するには、時間や費用、および顧客の不満と収益の減少という損害が生じるため、現代の業務アプリケーションでは監査機能が不可欠になっています。目標が、悪用されるリスクの減少、不正の影響を最小限に抑えること、またはセキュリティとプライバシーの保護への高まる期待を満たすことの内いずれである場合でも、御社は自社のデータがどのように扱われるかについて把握しておく必要があります。

Actian Audit for Zen v15

詳細な監査証跡 – Actian Audit for Zen v15 は、ユーザー ID、ネットワーク ステーション ID、操作の日時、アプリケーション名、データベース名、およびテーブルの種類など、データベース イベントをログに記録します。また、更新されたすべてのレコードについて、トランザクションの前および後のイメージをログに記録します。

アプリケーションは変更不要 – Actian Audit for Zen v15 は Actian Zen v15 の一部として動作するので、既存のアプリケーションに監査機能を追加するのにコードを変更する必要はありません。Actian Audit for Zen v15 は Actian Zen v15 内にインストールされるため、アプリケーションに依存せず、複数のアプリケーションを監視し、監査証跡内のすべてのデータベース イベントの発行元を識別できます。

クエリおよび警告機能 – Actian Audit for Zen v15 には、監査証跡データを照会、ユーザーが過去のアクティビティを確認、パターンと傾向を分析、セキュリティ ポリシーへの準拠証拠の提供を行えるようにする GUI が搭載されています。また、管理者と開発者はビジネス ルールに応じてカスタマイズしたアラート (警告) を作成することもできます。アラートは、データの作成、読み取り、更新、削除など特定のイベント通知をするもので、Windows アプリケーションのイベント ログにエントリを書き込みます。このログにより、管理者は、自動プログラムを実行したり、通知を送信したりするためのツールを使用することができます。

診断とデータ復旧をサポート – 問題が発生した原因を、アプリケーションで手っ取り早く特定できるようにするには、データベース イベントのログを確認します。すべての変更について、変更前のイメージと変更後のイメージが保管されているため、監査証跡にキャプチャされている変更内容を元に戻すことで、データベースのロールバックと、さめの細かい、特定時点の状態への復旧が可能です。

御社のデータに対して誰が何を、いつ、どこから、どのように操作しようとしているかを把握する

データベースのアクセス制御は、偶発的なエラーや計画的な不正からの防御を提供しないため、決して十分ではありません。監査を行わないと、説明責任は立証するのが困難であり、不正によるダメージからの復旧もほとんど不可能で必ず高くつきます。これらのいずれもが、コードやデータベースを変更することなく **Actian Audit for Zen v15** で簡単にできるようになります。御社は、迅速簡単に、またメンテナンス オーバーヘッドもあまりかけずに、データ アクセスのセキュリティを確保できるとともにデータ アクセスの説明責任が追求できるようになります。

